

なりたい自分になれる

脳科学



「人類最後のフロンティア」ともいわれる脳。その仕組みを知って上手に活かせば、経営や仕事にも劇的な変化を起こし得る……。研究の最前線で活躍する三人の脳科学者が、それぞれ異なる角度から指南する「脳活用法」。脳科学を中心に、心理学・行動経済学などの知見がちりばめられた三つのトークは、まさに「なりたい自分になる」ためのヒントが満載だ。

取材・文 山路正晃

イラスト 嘉戸亨二

運がよくなる方法がありますか？

中野信子 (東日本国際大学教授)



(撮影 小川佳之)

なかの・のぶこ 1975年、東京都生まれ。東京大学工学部卒業。同大学院医学系研究科脳神経医学専攻博士課程修了。医学博士。フランス国立サクレイ研究所勤務を経て、現在、東日本国際大学教授。「ワイドスクランブル」(テレビ朝日系)等、テレビ、ラジオ番組でコメンテーターとしても活躍。著書多数。近著に、『サイコパス』(文春新書)、『男脳 女脳 人生がとぎめく脳に効く言葉』(セブン&アイ出版)、『幸せをつかむ脳の使い方』(ベストセラーズ)など

「近著『サイコパス』が話題になっている中野信子さん。彼女は、企業経営者たちの集いで講演をする機会も多い。そうした席でしばしば受ける質問が、「脳科学から見て、運がよくなる方法がありますか？」。